

誰でもが、良質ないい家を、求められる社会環境づくりをめざして

特定非営利活動法人  
新木造住宅技術研究協議会

入会のご案内



NPO法人 新住協事務局

〒984-0822

宮城県仙台市若林区かすみ町24-10 板硝子会館2F

TEL 022-781-1371/FAX 022-781-1372

E-MAIL [webmaster@shinjukyo.gr.jp](mailto:webmaster@shinjukyo.gr.jp)

URL <http://www.shinjukyo.gr.jp>

## NPO法人 新住協の活動目的と組織

### NPO法人 新木造住宅技術研究協議会の活動目的

#### 【活動目的】

この法人は、良質な住宅の普及を望む市民と住宅供給に携わる研究者や技術者が協同して、各種木造工法住宅の技術研究に取り組み、誰もが良質で安価な住宅が求められる社会環境を構築する事業を行い、それらの活動が社会的に、豊かな住文化の育成、地球環境の保全、住宅技術の振興及び市域経済の活性化に寄与することを目的とする。

#### 【NPO法の活動】

- (1) 社会教育の推進を図る活動
- (2) まちづくりの推進を図る活動
- (3) 環境の保全を図る活動
- (4) 経済活動の活性化を図る活動
- (5) 職業能力の開発又は雇用機会の拡大を支援する活動
- (6) 消費者の保護を図る活動

#### 【具体的な事業】

- (1) 木造住宅の高性能化に関する工法、建材、設備機器等の技術研究開発事業
- (2) 高性能住宅に関する普及啓蒙活動事業
- (3) 高性能住宅の技術研究開発、普及啓蒙に関する出版、発行事業

#### □役員

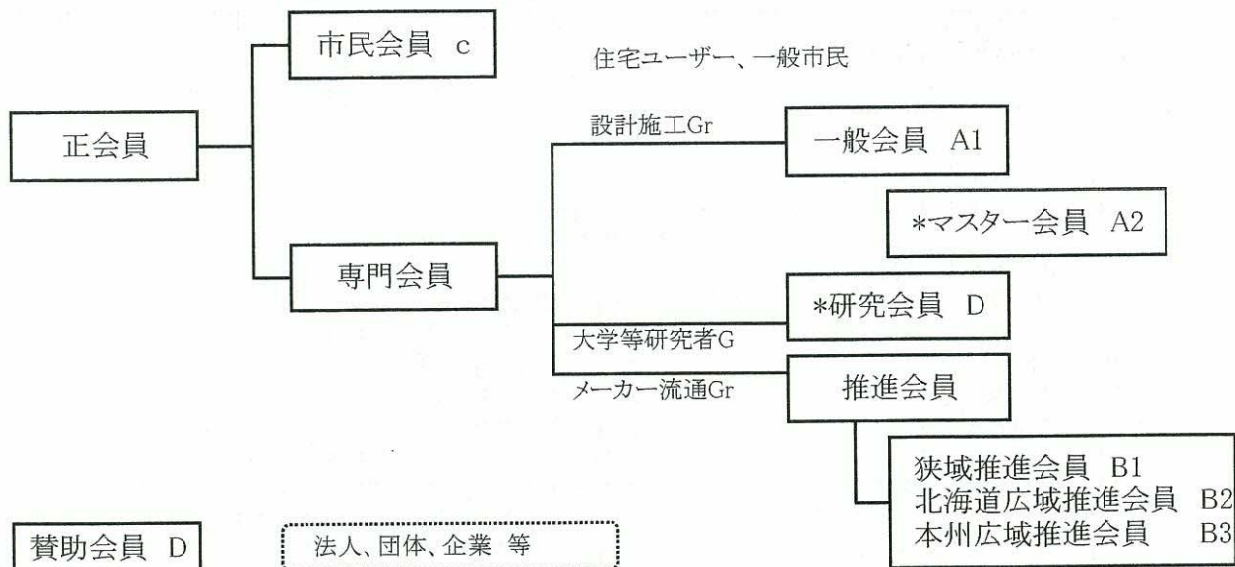
代表理事 鎌田 紀彦 (北海道室蘭市 室蘭工業大学教授)  
事務局長 会沢 健二 常務理事

#### □会員数 (平成21年 3月 1日現在) \*新住協会員

北海道	166	本州	501		
札幌支部	49	青森支部	42	長野支部	25
旭川支部	30	岩手支部	55	岐阜支部	63
函館支部	16	秋田支部	27	本州その他地区会	34
胆振支部	15	山形支部	60	本州広域推進会員	27
十勝支部	15	宮城支部	28	賛助会員	1
釧路支部	10	福島支部	25		
道内その他地区会員	5	関東支部	74	総合計	667
道内広域推進会員	26	新潟支部	40		

# NPO法人 新住協の会員構成

## 1.新住協の会員構成図



- ・会員は、正会員（市民会員と専門会員からなる）と賛助会員で構成されます。
- ・市民会員は、新住協の活動に賛同する住宅ユーザー、一般市民が登録されます。
- ・専門会員は、設計・施工グループと大学研究者、メーカー・流通グループの3つに区分されます。
- ・住宅建設に関わる設計事務所、工務店、ハウスメーカーに所属される方は一般会員として登録されます。
- ・一般会員の内、新住協の技術審査に合格した会員が、マスター会員として登録することが出来ます。マスター会員は、新住協が性能を保證できる技術を保有する会員として、ホームページなどで紹介されます。（技術審査内容は別に定める）
- ・大学等研究機関に所属する人は「研究会員」になります。
- ・住宅の建材、設備機器などの製造に関わるメーカーや、その販売、流通に関わる会社などに所属される方は、推進会員として登録されます。推進会員は活動範囲によって、狭域推進会員と広域推進会員に区分されます。狭域推進会員（B1）は、主として一県内で活動する会社に所属する会員、広域推進会員は北海道全域（B2）または本州の複数都道府県（B3）にわたって活動する会社に所属する会員です。北海道及び本州の日本全域で活動する会社に所属するか、全国的に新住協の活動に参加したい方は、B2とB3の両方に申し込んでください。
- ・賛助会員は、新住協の活動に賛助する各種法人、団体、企業です。

## 2.会費

会員種	金額		備考
	入会金	年会費	
専門会員			1.中途入会の年会費は次の通りです。 ①正会員 4半期単位 ②賛助会員 年単位 2.賛助会員は1口以上です。 3.支部会費の特例 ①本会費の他に支部会費が必要な場合があります ②支部会費の上限は1万円です ③支部単位で臨時会費が必要な場合もあります
一般会員	10,000	40,000	
マスター会員	0	60,000	
研究会員	0	10,000	
狭域推進会員	10,000	40,000	
広域推進会員	10,000	60,000	
市民会員	0	6,000	
賛助会員	0	50,000	

## 活動内容(平成20年)

新住協では、木造住宅の高性能化に関する工法や建材、設備機器等の技術研究開発を行い、それらの普及啓蒙活動事業として、研修活動や関連図書の出版、発行を行っています。また、会員にはそれらを「技術情報誌」として配布し、会員の技術向上を促進しています。

### 1.技術マニュアル及び技術情報誌一覧

新在来木造構法マニュアル1995

新在来木造構法マニュアル2002 (合板気密化工法)

新在来木造構法 技術情報誌

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| 5号 「何故気密化するのか」           | 23号 「断熱改修」                                    |
| 6号 「気密測定」                | 24号 「日射遮蔽による夏の住宅温熱環境改善」                       |
| 7号 「PFP」                 | 25号 「新在来木造構法2002」                             |
| 8号 「夏を涼しく」               | 26号 「断熱改修-2」                                  |
| 9号 「北欧視察報告」              | 27号 「民家再建」                                    |
| 10号 「PFPマークⅡ」            | 28号 「パンプソーラー暖房負荷低減」                           |
| 11号 「既存住宅の断熱改修」          | 29号&30号 「QPEX」…熱計算プログラム<br>「ポスト次世代省エネ基準の住宅仕様」 |
| 12号 「エコハウス パンプ換気」        | 31号 「PFP収納システムマニュアル」                          |
| 13号 「無落雪屋根のデザイン」         | 32号 耐震断熱改修 *07年研究会テキスト                        |
| 14号 「ローコスト高齢者対応モデル住宅建設」  | 33号 「高断熱住宅でのCO2発生量」                           |
| 15号 「健康住宅 高橋元氏」          | 34号 「第1回設計施工・プランニング・暮らし方のアイデアコンクール」           |
| 16号 「技術研修会 上越の冬を快適に」     | 35号 「スウェーデン視察旅行レポート」                          |
| 17号 「10年度総会 会員発表」        | 36号 「新在来木造工法 施工後の壁体内検証」                       |
| 18号 「健康住宅」               | 37号 「断熱改修」 未発行                                |
| 19号 「伝統的な在来工法による高断熱住宅3題」 | 38号 「QPEX Ver2.0」…熱損失係数、暖房エネルギー計算プログラム        |
| 20号 「1999 夏の住宅温度調査」      | 39号 「高性能住宅の基礎・外壁・屋根の断熱工法」                     |
| 21号 「PFPMarkⅢと外構収納システム」  | 40号 「熱容量が木造住宅の熱性能に及ぼす影響に関する研究」                |
| 22号 「PFPMarkⅢプラン集」       |   |

### 2.小冊子及び技術資料《ユ:ユーザー向け 専:専門家向け》

高断熱の技法《専》

住まいの科学

百年住宅をめざして《ユ・専》

新住協のQ1プロジェクト 北海道事例付き《専門家向け》

新住協のQ1プロジェクト 東北本州版《専門家向け》

住宅作品コンクール作品集

エコ住宅 Q1.0(発行 リプランの札幌社)

